

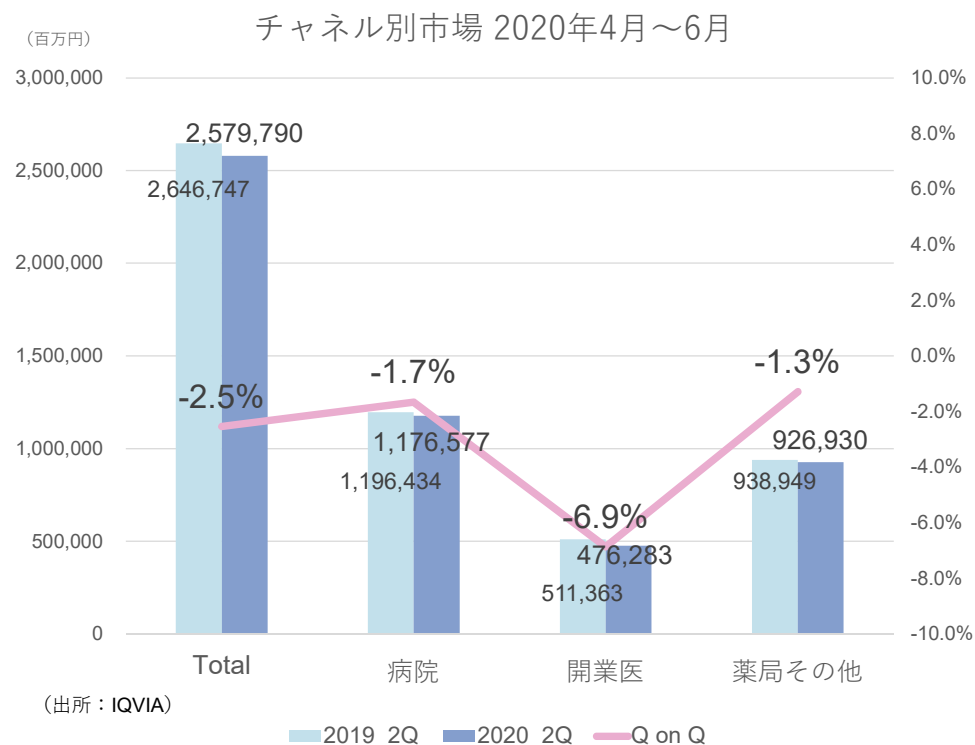
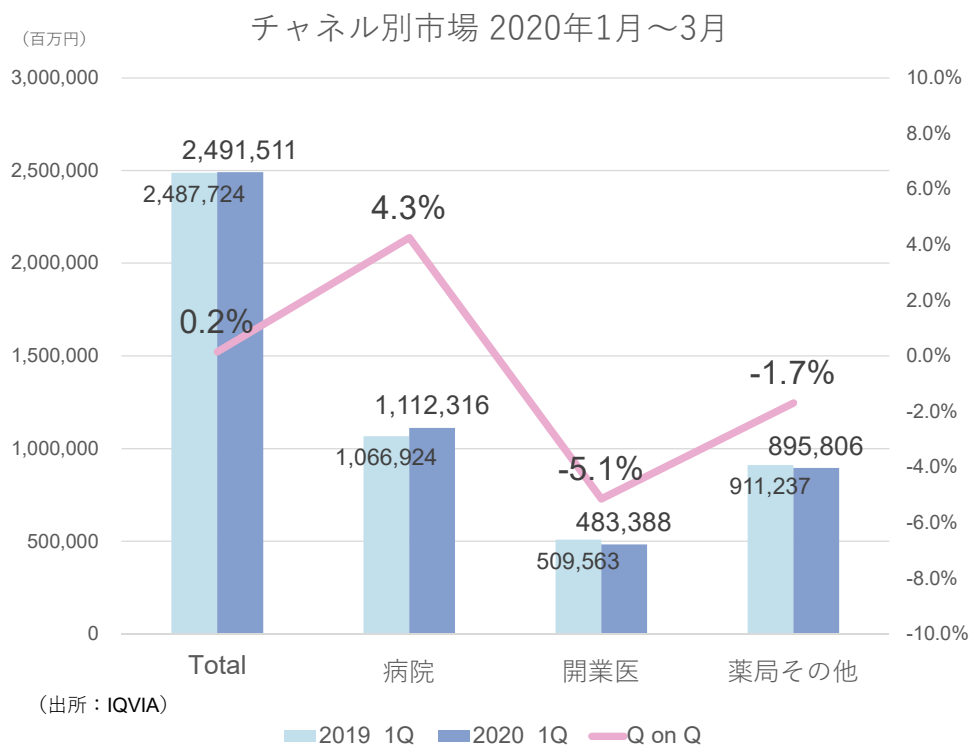


Pharmacy report

FY2020 1Q決算分析

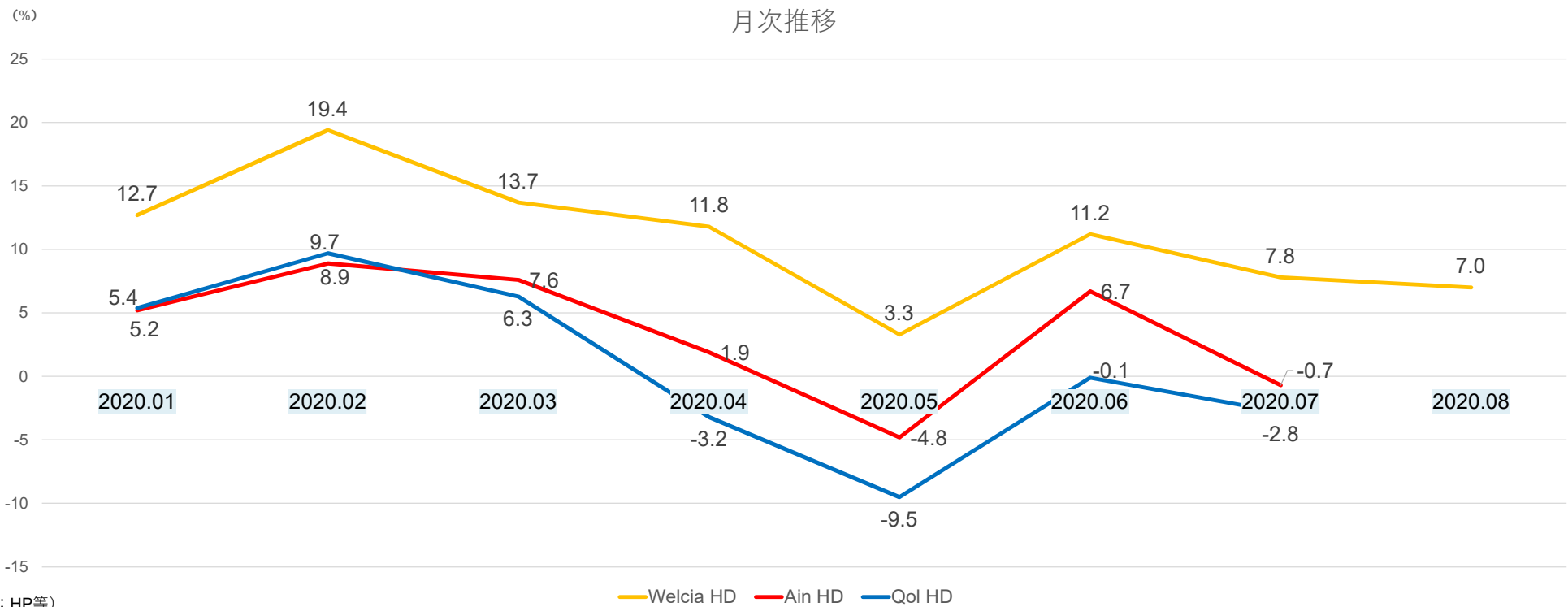
テトラコンサルティング株式会社

医科向け医薬品市場



- 1-3月の病院市場が堅調なのは、新薬（主に抗がん剤）の影響が大きい。
- 開業医・薬局市場は、大型新薬がほとんど無いため前年同期比ではマイナスになっている。
- 4-6月は、薬価改定や新型コロナウイルス感染症の影響で病院市場も-1.7%減となり市場全体も-2.5%減となった。
- 薬局は医療機関と比較し、コロナの影響は軽微と言える。

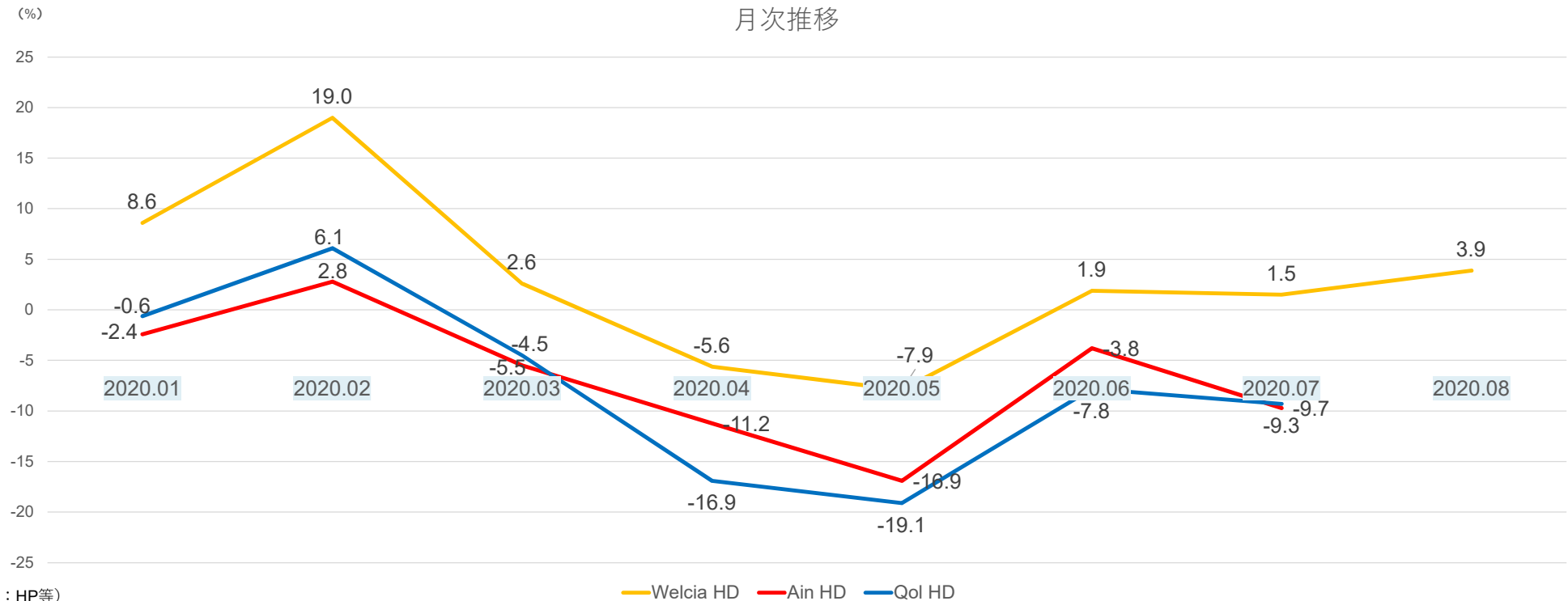
調剤報酬 月次動向



- 引続き利便性の強み等を活かし、ウエルシアHDは堅調に推移。
- アインHDは7月に再びマイナスとなったが、店舗閉鎖も要因のひとつとして考えられる。
- クオールHDは、開業医の門前が多いため回復に時間を要している。
- ウエルシアのみ既存店（新店、M&A含まず）。

処方箋応需枚数 月次動向

月次推移



- ウエルシアHDは、市場環境が厳しい中でも7, 8月は130万枚超/月の処方箋を応需。
- アインHDは、平均191万枚/月の処方箋を応需しているが、M&Aの基準を上げ小規模店舗の閉店を加速していることから、ウエルシアHDを超えるような伸び率は期待し難い。
- アインHDは、M&Aが減少したことや店舗閉店（10店舗）の影響で7月は落ち込んだ。

FY2020 1Q 調剤チェーン決算

(百万円)		売上高	増減率	営業利益	増減率	利益率	純利益	増減率	利益率
アインHD	FY2020	71,463	-1.4%	1,164	-70.3%	1.6%	846	-62.2%	1.2%
	FY2019	72,461	11.5%	3,921	13.6%	5.4%	2,240	21.0%	3.1%
日本調剤	FY2020	68,306	6.2%	429	-75.7%	0.6%	356	-57.3%	0.5%
	FY2019	64,316	8.5%	1,770	253.1%	2.8%	833	-	1.3%
クオールHD	FY2020	39,171	-2.9%	581	-64.9%	1.5%	223	-73.4%	0.6%
	FY2019	40,325	15.9%	1,654	10.1%	4.1%	841	-23.4%	2.1%
MSNW	FY2020	25,162	-1.7%	-61	-	-	-201	-	-
	FY2019	25,599	7.3%	334	57.6%	1.3%	97	-3.7%	0.4%

(出所：決算短信等、MSNW：メディカルシステムネットワーク)

- 各社の決算の評価は、2極化した。
- 日本調剤のみ株価上昇、アインHDは決算発表後の翌日の株価は-4.58%の下落。
- 増収を確保できたのは、日本調剤のみとなった。調剤薬局事業+3,389百万円、GE製造販売事業+1,269百万円が業績を牽引した。
- アインHDはコロナの影響もあるが、戦略的に小規模店舗から撤退していることも減益要因のひとつ。
- クオールHDの利益の大部分は、非調剤事業による。
- MSNWは、赤字に転落。

各社の調剤事業の現況

(単位：百万円)

売上高	FY2019 1Q	FY2020 1Q	増減額	増減率 (%)
アインHD	64,800	62,888	-1,912	-3.0
日本調剤	54,811	58,200	3,389	6.2
クオールHD	37,525	35,712	-1,813	-4.8
MSNW	21,865	21,476	-389	-1.8

MSNWは、地域薬局ネットワーク事業から調剤部門を切り出して算出

(出所：決算短信等)

営業利益	FY2019 1Q	FY2020 1Q	利益率 (%)	増減額	増減率 (%)
アインHD	4,671	3,124	7.2 → 5.0	-1,547	-33.1
日本調剤	1,843	464	3.4 → 0.8	-1,379	-74.8
クオールHD	1,495	195	4.0 → 0.5	-1,300	-87.0
MSNW	非開示	非開示	—	—	—
(参考) 地域薬局 ネットワーク事業	825	434	3.4 → 1.8	-391	-47.4

- 各社とも営業利益率が悪化する中で、アインHDは5.0%を確保。